

企画経済委員会委員協議会記録

1 会議の日時

令和元年8月27日

開 会 午前 9時59分

閉 会 午前11時01分

2 会議の場所

企画経済委員会室

3 出席者

委
員

委員長 伊藤 秀光 副委員長 澄川 寿之
玉田 和浩 渡辺 嘉山 松村 多美夫
佐藤 武彦 水野 正敏 安井 忠

執
行
部

別紙配席図のとおり

4 事務局職員

主 査 岩田 昌也
主 任 森 広嗣

5 会議に付した案件

件名	審査の結果
<p>1. インバウンドの現状と取組みについて</p> <p>2. 東京オリンピック・パラリンピックにおける事前合宿誘致及びホストタウン登録状況について</p> <p>3. その他</p>	

6 議事録（要点筆記）

○伊藤秀光委員長

ただいまから企画経済委員会委員協議会を開会する。本日の協議会は、委員会の所管事項の調査並びに施策の評価の充実を図るため開催したものである。

議題は、お手元に配付した次第のとおりである。なお、説明員は、今回の議題を所管する部局を中心に出席いただいているので予めご了承願いたい。

それでは、「インバウンドの現状と取組みについて」を議題とし執行部から説明をお願いする。

（執行部挨拶：尾鼻清流の国推進部長）

（執行部説明：尾関観光国際局副局长）

○伊藤秀光委員長

ただいまの説明に対して質疑を行う。

○澄川寿之副委員長

岐阜県観光WEBサイトのリニューアルはいつまでに行うのか。

○加藤海外戦略推進課インバウンド推進監

来年の3月中に整備し公開したいと考えている。

○澄川寿之副委員長

WEBサイトのリニューアルは、どこが実施するのか。

○加藤海外戦略推進課インバウンド推進監

県から補助金を交付し、岐阜県観光連盟が実施する。県でこれまで培ったノウハウや経験則、人脈などを活用し、サポートしたい。

○水野正敏委員

通訳ガイドは、仕事として成り立つのか。

○加藤海外戦略推進課インバウンド推進監

現在、本県では、個人旅行者向けの「匠の技」をはじめとするオプションツアーの造成に取り組んでおり、従来型の幅広い知識ではなく、専門的に説明できる深い知識を有する人材が必要である。今後、人材育成に取り組むとともに、オプションツアーの認知度が上がることで仕事として成り立っていくことを目標としている。

○松村多美夫委員

平成30年の外国人延べ宿泊者数の対前年比の伸びは全国1位だが、目標は。

○加藤海外戦略推進課インバウンド推進監

2020年に150万人達成を目標としている。

○松村多美夫委員

観光消費額についてはどう考えているか。

○加藤海外戦略推進課インバウンド推進監

国が発表している本県の外国人1人あたりの旅行消費額は、2017年の12,954円から、2018年は24,034円と増えている。昨年度造成したオプションツアーは、高単価の商品に人気があり、今後も消費額の増加に向けてしっかり取り組んでいきたい。

○松村多美夫委員

旅行消費額が増えたということだが、その要因は。

○加藤海外戦略推進課インバウンド推進監

体験型ツアーの増加に加え、これまで名古屋に宿泊していた中国の団体旅行者が、長良川温泉や下呂温泉等の高単価の宿に宿泊する等、本県への宿泊が増えたことが要因と考えられる。

○松村多美夫委員

外国人宿泊者の欧州の割合が全国に比べ高いということだが、知事のトップセールス等、PRの成果が出てきていると考えているか。

○崎浦観光国際局長

トップセールスは、東南アジアからスタートし、ヨーロッパのフランス、イギリス、スペイン等へ展開してきたところである。欧州での本県への評価も高く、旅行会社からも関心をもってもらえたことも影響している。また、ミシュランガイドで高山に三ツ星が付いたことも要因と考えている。

○佐藤武彦委員

平成29年から平成30年にかけて外国人延べ宿泊客数が1.5倍にふえているが、その要因は。

○加藤海外戦略推進課インバウンド推進監

まず、岐阜の美濃地方に宿泊して高山・白川郷に行く中国の団体旅行者が大きく増えたこと、またこれまで高山市内にはあまり見られなかった中国の個人旅行者の宿泊が増えたことが要因に挙げられる。

○佐藤武彦委員

数日前の新聞で、インバウンド旅行者が増えることで住民のプライバシーや、マナーの問題が発生しているという記事が出ていたが、対策はそれぞれの市町村が行うのか。

○加藤海外戦略推進課インバウンド推進監

白川郷の合掌造りでは、白川村が英語の看板を立てマナーを守るよう注意喚起する等の対策を行っている。また本県では、オーバーツーリズムが現実的な問題に至っていないと考えているが、今後、地元関係者と連携して取り組んでいきたい。

○佐藤武彦委員

本県の人口が200万人を割ってきた中で、インバウンドの増加は、どのような成果があったと分析しているのか。

○加藤海外戦略推進課インバウンド推進監

本県の場合、欧米豪の割合が高く、これらの旅行者は消費額も高い。また、人口が減少する中、インバウンドが重要であり、本県の宿泊者数に占める外国人の割合は21%と全国や近隣県と比べても非常に高い。

○兼松観光企画課長

県全体としては、成長雇用戦略において、2020年に経済波及効果は5,000億円、国内・インバ

ウンドを含めた観光入込客数は4,600万人、外国人延べ宿泊者数は150万人と目標を掲げており、経済波及効果は2017年で4,175億円、旅行者数は4,556万人、2018年の外国人延べ宿泊者数は148万人とかなり近いところまで来ている。

○伊藤秀光委員長

今月（8月14日～17日）、香港でフードフェアが行われ、本県からも13社が現地に行ったようであるが、食も誘客のテーマとして取り組むことについて県としてどのように捉えているか。

○寺島海外戦略推進課長

県では、産業経済振興センターが海外への進出を決めているような事業者をサポートする「海外展開事業」に対し、補助を行う形で支援を行っている。また、食料品や日本酒はアジアへの輸出の要望が多いことから、香港でフェアを行うことも計画している。

海外戦略プロジェクトとしては、大きく2つの取組みとして、海外から人を呼び込み交流人口を増やし、観光消費と地域内所得を増大させる誘客と、海外に向け、農産物や県産品の販売拡大を図り、地域内所得を増大させる販路拡大に取り組んでいる。例えば、販路拡大に意欲のある県内115事業者の情報を、「ゲートウェイ・トゥ・ギフ」というHPで海外のバイヤー向けにPRを行っており、海外からの誘客と県産品の販売拡大に取り組んでいる。

○伊藤秀光委員長

質疑も尽きたようなので、これをもって終了する。

次に、「東京オリンピック・パラリンピックにおける事前合宿誘致及びホストタウン登録状況について」を議題とし、執行部の説明を求める。

(執行部説明：丸山清流の国推進部次長(スポーツ担当))

○伊藤秀光委員長

ただいまの説明に対して質疑を行う。

○澄川寿之副委員長

飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアでイギリスとフランスが合宿を実施することだが、実施時期は異なっているのか。

○大川地域スポーツ課長

現在、イギリスとフランスと調整を行っているところだが、いずれの国も陸上競技であるため、合宿の日程はある程度、重なると想定している。

○澄川寿之副委員長

日程が重なった場合、受入れに支障はないか。

○大川地域スポーツ課長

複数の施設で環境整備を行うため、支障はない。

○澄川寿之副委員長

岐阜グリーンスタジアムと川辺漕艇場については、まだ合宿誘致の可能性はあるのか。

○大川地域スポーツ課長

岐阜グリーンスタジアムのホッケーについては、この8、9月以降に出場国が決まってくるため、今後も出場国に対し、誘致活動を行っていく。また、川辺漕艇場のボートやカヌーについても、現在、複数

の国に対して誘致活動を続けているところである。

○澄川寿之副委員長

合宿に向けた施設整備を行っているので、是非、誘致を実現していただきたい。

○佐藤武彦委員

合宿誘致に係る予算はどの程度か。

○大川地域スポーツ課長

今年度の予算額は、海外トップアスリート事前合宿誘致事業費として、240万円余りを計上している。来年度（2020年度）の予算額については、今後、各国と交渉・調整のうえ、積算する。

○佐藤武彦委員

来年度の予算規模は、どの程度になる見込みか。

○大川地域スポーツ課長

現時点での積み上げはないが、例えば、昨年のイギリス中長距離選手による合宿は、職員の随行のみの負担だったが、平成29年のフランスによる合宿では、国内での交通費や宿泊費等、350万円程度を県が負担した。国ごとで誘致に係る経費が異なるため、今後、交渉により可能な限り有利な条件で、かつ大規模な合宿を誘致できるよう取り組んでいく。

○伊藤秀光委員長

質疑も尽きたようなので、これをもって議題を終了する。

以上をもって、本日の委員協議会を終了する。

企画経済委員会委員協議会配席表

令和元年8月27日(火) 午前10:00～
企画経済委員会室

			加藤 海外戦略推進課 インバウンド推進監	外国人活躍・共生社会推進課長	板津 近本 地域スポーツ課 スポーツ誘致推進監				
寺島 海外戦略推進課長	兼松 観光企画課長	尾関 観光国際局副局長	崎浦 観光国際局長	尾鼻 清流の国推進部長	丸山 清流の国推進部次長 (スポーツ担当) 兼ねりんピック推進事務局長	大川 地域スポーツ課長	西脇 競技スポーツ課長	瀬川 地域スポーツ課 スポーツ施設企画監	
安井委員	○	○				○	水野(正)委員		
佐藤委員	○	○				○	松村委員		
渡辺委員	○	○				○	玉田委員		
			○	○					
			澄川 副委員長	5 伊藤(秀) 委員長					